

別表 評価基準表

審査項目		評価基準	配点
業務の理解度・意欲	(1) 業務目的の理解・地域特性への配慮	○市内企業の人手不足等の経営課題に対し、現状把握・デジタル化による課題解決を図り、地域における持続的成長の実現を目指すという本業務実施に当たっての背景・目的を深く理解しているか。	10
企画提案に対する業務内容別の評価	(2) 企業訪問調査	○業種・業態などのバランスが考慮された実効性のある訪問計画となるよう工夫されているか。 ○企業課題を効果的に収集するとともに、企業がDXへの取組について興味や関心を抱く工夫がされているか。	15
	(3) DX啓発セミナー	○対面・オンラインのハイブリッド開催とする等多くの企業が参加しやすい工夫がされているか。 ○周知方法は適切かつ効果的なものとなっているか。 ○内容は、市内企業にデジタル化の必要性を訴求するようなものとなっているか。	10
	(4) 伴走支援	○事業の目的が達成されるような支援対象企業の募集・選定方法が提案されているか。 ○事業期間内に効果や成果を一定程度生み出すことができる実効性や、事業期間後に企業が取組を継続できるような支援方法が提案されているか。 ○様々な業種・業態の支援ニーズに対応するための各種支援メニューが提案されているか。	15
実施体制・専門性	(5) 配置人員の資質・実施体制	○実施計画（スケジュール）が現実的なものであり、かつ柔軟な調整が可能なものであるか。 ○実施計画の遂行及び商工会議所等関係機関と連携できる十分な人員体制が整っているか。 ○統括責任者等配置予定の人員が、「企業の経営課題把握」「デジタル技術活用」等本業務に係る十分な実務経験や専門知識を有しているか。	15
独自提案・付加価値	(6) 成果最大化のための追加提案	○委託経費の範囲内で、事業の効率化や成果の最大化に資する特筆すべきアピールポイントや独創性のある提案があるか。	10
会社概要・業務実績	(7) 同種・類似業務の実績	○過去に自治体や公的機関等において、類似業務を遂行した実績・信頼性があるか。	10
業務経費	(8) 見積額	○得点 = (最低見積額 ÷ 当該審査対象者見積額) × 15 * 最低見積額は、審査対象者のうち、失格となっていない者の金額を参照する。 * 得点は、小数点以下切り捨てにより算出する。	15
合 計			100